令和４年度　園の自己評価

ピアニィ道教寺

1、保育理念

1	自分を素直に表現でき、情緒豊かな子どもを育てる。
2	あたりまえのことができ、ルールをまもれる子どもを育てる。
3	優しい気持ちが持て、協調性ある子どもを育てる。

2、保育目標

1	基礎的生活習慣を正しく身につけ、健康で安全に過ごす子ども。
2	心の優しさ、思いやり、勇気、感動を友だちと共有できる子ども。
3	人の話を聞いて、自分の気持ちを表現できる子ども。よく考え最後までやりとげる子ども。

3、本年度の重点目標

1	子ども主体の保育の提供
2	保育環境の配慮
3	保護者への情報発信、地域における子育て支援
4	職員の資質向上
5	小学校との連携

4、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取　組　状　況
子どもの発達援助	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を踏まえ、一貫した保育、教育を行う。
健康管理・食事	コロナウィルス感染症に対しては保健所等の指導を仰ぎながら、随時情報を提供し、蔓延防止に努めた。 コロナ対策の為、規模は縮小したが食育計画を工夫し取り組めた。
保育環境	その時期の子どもの興味や関心に合わせた保育環境を工夫し教材の充実に努める。 災害グッズをクラスごとに置き、緊急時に備える。
情報発信	ICT システム使って、写真掲載、動画配信を行い子どもの様子を発信する。
地域の子育て支援	園庭開放・一時預かり事業を実施している。
職員の資質向上	学年ごとのショート会議をとおして、具体的なカリキュラムの立案を行い、全体研修で振り返りを行う。キャリアアップ研修にも参加する。
関係機関との連携	就学前の意見交換をする。

5、総合的な評価結果と今後の取り組

B	昨年に引き続きコロナ感染対策をしながらも、子どもたちの育ちを支えていくために、活動や行事のあり方を工夫していく。 保育室においても子ども達が興味、関心を持って関わり、考えたり、試したりできる環境作りを継続していく。 地震や災害に備えて、施設面での対応、職員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの作成を常に見直したい。 業務の効率化を図り、園内研修の時間を確保し、専門性を高めるとともに職員間の共通理解と協働性を高めていく。 コロナ禍の中、交流はできなかったが、小学校との連携に努めたい。

評価結果の表示方法

Ａ：十分達成されている　Ｂ：達成されている　Ｃ：一部検討を要する　Ｄ：改善を要する